

2024年3月期 第2四半期累計決算説明会

2023年11月28日

nmsホールディングス株式会社

(東証スタンダード 2162)

Piece of Innovation.

nms
Holdings

代表取締役社長 小野 文明

**常務取締役コーポレート本部長
河野 寿子**

nms ホールディングス株式会社

2024年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要

- 中国やASEANを中心としたお客様の在庫調整による影響があったものの、これまで実行してきたコスト構造改革や基盤強化策の効果もあり、全体として業績は堅調に推移
- 減産影響に加え、生産量回復に向けた部材調達等の増加により、第2四半期の売上高・営業利益は、第1四半期に対し減少したものの、想定どおりであり、第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期に対し増収増益
- 営業利益の改善に加え、為替差益（760百万円）計上もあり、経常利益、四半期純利益とも大幅に増加

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期 累計期間実績	2024年3月期 第2四半期累計期間 実績				
				累計	前年同期比	備 考
		第1四半期	第2四半期			
売上高	35,818	18,565	17,709	36,274	1.3%	【営業外損益】 営業外収益 829百万円 （前年同期比 54百万円減） 営業外費用 437百万円 （前年同期比 214百万円増） 【特別損益】 特別利益 0.9百万円 特別損失 1百万円
営業利益	△155	483	14	498	+653	
経常利益	505	698	191	889	+383	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	208	496	63	560	+351	
1株当たり 四半期純利益（円）	13.39	31.93	4.10	36.03	+22.64	
EBITDA	533	842	386	1,229	+695	

■ セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2023年3月期 第2四半期 累計期間実績	2024年3月期 第2四半期累計期間 実績				
						前年同期比	主なポイント
			第1四半期	第2四半期	累計		
H S事業	売上高	11,507	5,761	5,655	11,416	△0.8%	- 国内は、自動車・半導体関連を中心としたお客様の生産調整があったものの、需要は総じて堅調に推移 - 海外は在庫調整等による減産の影響や新規受注獲得による教育費用の増加等、利益圧迫要因があり、全体として減収減益
	セグメント利益	470	196	231	427	△42	
E M S事業	売上高	17,010	9,118	8,228	17,347	2.0%	- 戦略投資における新規受注の立ち上げや量産開始による生産数量の増加等、事業規模拡大効果もあり増収 - 利益面でも、生産調整影響があったものの、各拠点における生産性改善やコスト構造改革の成果もあり大幅に改善
	セグメント利益	△179	242	△107	134	+313	
P S事業	売上高	7,300	3,685	3,824	7,510	2.9%	- 部品不足によるお客様の生産調整の影響が緩和傾向となったことに加え、需要は高い水準で推移したこともあり増収 - 生産効率向上や部材調達ソースの拡大等、安定した生産活動および収益確保に向けた施策を着実に実行し増収増益
	セグメント利益	△194	203	15	219	+414	
調整額	セグメント利益	△252	△159	△124	△283	—	当社（持株会社）に係る全社費用
合 計	売上高	35,818	18,565	17,709	36,274	1.3%	HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業
	セグメント利益	△155	483	14	498	+653	

■ 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2023年3月期 (2023年3月31日)	2024年3月期 第2四半期 (2023年9月30日)	増 減
流動資産	30,020	28,274	△1,746
固定資産	8,885	9,523	638
有形固定資産	7,089	7,647	558
無形固定資産	651	651	0
投資その他の資産	1,143	1,224	81
繰延資産	26	19	△6
資産合計	38,932	37,818	△1,113
負債合計	36,417	34,892	△1,524
流動負債	28,519	26,456	△2,062
固定負債	7,898	8,436	538
純資産合計	2,514	2,925	410
負債・純資産合計	38,932	37,818	△1,113

■ 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)		2023年3月期 第2四半期累計期間	2024年3月期 第2四半期累計期間	主なポイント
	税金等調整前四半期純利益	478	889	
	減価償却費	689	731	
	運転資金の増減	△1,243	1,684	売上債権 1,996 在庫 1,877 仕入債務 △2,189
	そ の 他	△706	△983	
	営業キャッシュ・フロー	△781	2,322	
	固定資産の取得・売却	△1,107	△586	売却収入 1 取得支出 △587
	そ の 他	18	△32	
	投資キャッシュ・フロー	△1,088	△618	
フリーキャッシュ・フロー		△1,869	1,703	
	借入金の増減	718	△789	
	配当金支払 他	△275	△286	リース債務返済 △192 配当金 △93
	財務キャッシュ・フロー	442	△1,075	
	現金及び現金同等物の四半期末残高	4,045	4,247	

■ 2024年3月期 通期業績予想 (23年10月30日公表)

- 前下期にあった挽回生産のあおりによるお客様の在庫調整に加え、米国および欧州経済における金融引き締めの影響や、最終需要減少によるお客様の減産等の影響もあり、売上高は前年同期に対し減収となる見通し
- 一方、営業利益は、これまで実行してきた事業構造改革の効果定着や、さらなる固定費の削減、また、製造現場において生産ラインの自動化による生産性改善等、基盤強化施策の実効が上がっており、増益となる見通し
- 経常利益も、営業利益の増加と為替差益の発生により増益となる見込みであり、当期純利益についても、営業利益および経常利益の増加により、増益を予想
- 世界経済の動向は、先行き不透明な状況が続く様相だが、製造業における労働力不足や、国内および海外における機動的な生産体制構築、エネルギー関連製品需要の高まりなど、いずれも当社グループの好機につながるものであり、来期につながる取り組みを着実に進め、中期経営計画の達成に向かう

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想 (23年10月30日公表)	2023年3月期 実績比
売上高	63,277	79,033	77,000	△2.6%
営業利益	△361	1,537	1,850	+312
経常利益	122	1,426	1,500	+73
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,980	505	800	+294
1株当たり 当期純利益 (円)	△121.17	32.52	51.47	+18.95

セグメント別事業概況

- HS（ヒューマンソリューション）事業
- EMS（エレクトロニクスマニファクチャリングサービス）事業
- PS（パワーサプライ）事業

【HS事業】景況変動の中でも安定収益確保、成長への種まき実施

基本方針

- 22年度に実行した施策の効果を定着させ基盤強化と事業強化の両輪で機動力をあげ、質が伴った成長を実現する
- 当中計期間は部分最適と全体最適のバランスをとりながら強固な経営基盤を構築

中期重点戦略

【基盤強化】

- ・機能/組織の再設計、組織力を強化
- ・HS事業のDX化
⇒ デジタル技術・AIを活用し、事業運営の効率化を加速

【事業強化】

- ・グローバル・プラットフォーム・サービス展開
⇒ 海外人材の採用から定着までOne-stopプラットフォームを構築
- ・特長を活かした新たなサービス・ソリューションの提供

2Q累計期間実行施策

- 「グローバル・プラットフォーム・サービス」事業規模拡大に向けベトナムにおいて基盤強化策を実行
 - ・ベトナム人材企業3社とアライアンスネットワーク構築開始
 - ・様々な分野の人材採用・教育を行う日系企業と業務提携
- 多様な人材の確保でお客様のニーズに対応
 - ・即戦力となるシニアエキスパート人材の雇用推進
 - ・多様な外国人材の活躍推進
 - ・ウクライナ人材支援へのネットワーク構築開始
- エンジニア人材に特化した「技術センター」設置、24年春稼働



【EMS事業】生産能力増強等、売上・利益増加への施策を実行

事業主体：株式会社TKR

nms
Holdings

基本方針

- 大量生産品を日本品質で、かつ、より低価格で実現する「メガEMS」と、熟成したマーケットにおける「オーダーメイド型EMS」の掛け合わせで全方位Win/Winを実現
- 当社グループ独自のEMS新概念「Engineering Manufacturing Service」でパートナー戦略を強化、持続的成長を実現

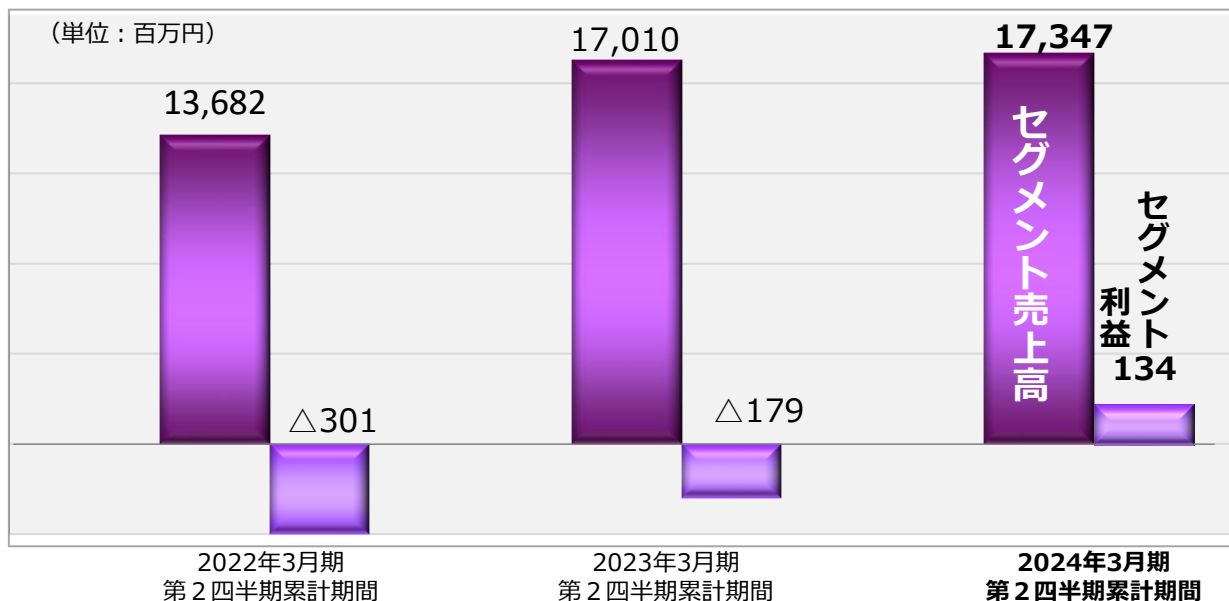


中期重点戦略

- マレーシア拠点のキャッシュカウ化、これによるグループ経営資源の循環機能の強化
- 中国拠点のポートフォリオ組み換え
これによる収益性改善と持続的成長
- 戦略投資拠点であるベトナム、メキシコの本格的業績寄与
ベトナム：プレス加工技術を武器に受注拡大
メキシコ：エンジニアリングツール＋車載関連
- グローバル生産体制の機動力の要となる国内拠点の機能強化、高度化
(営業・技術・調達・管理)

2Q累計期間実行施策

- 戦略投資を行ってきたベトナム拠点は、お客様のベトナム生産移管ニーズも享受し、着実に売上・利益が増加、下期も堅調に推移する見込み
- メキシコ拠点は受注量増加、自動化設備投入で生産性改善
24年度からの新規受注立ち上げ、生産数量増加に向け、新たに基板実装ライン設置も計画
- グループ各拠点が持つ自動化技術をお客様ニーズにあわせグループ内で横展開、生産性向上で利益創出力改善



【P S 事業】 R&Dセンター開設、技術開発体制を整備

事業主体：パワーサプライテクノロジー株式会社

nms
Holdings

基本方針

- 高圧電源、マグネットロールを中心に体質強化
ドキュメント市場でシェア拡大し、粘り抜く
- 高圧商品（電源・トランス）を切り口に産業・
環境市場への展開を加速
- 売上成長を伴う安定的な収益体質へ転換

中期重点戦略

- 高圧電源/マグネットロール：
ドキュメント市場でシェア拡大、体質強化
- 高圧電源/高圧トランス：
環境市場（産業・家電分野）に展開
- 低圧電源：
産業市場（ロボティクス・スマートファク
トリー）のシェア拡大
- 持続的成長を実現するリソースの強化、
企業文化の活性化

2Q累計期間実行施策

- 23年4月、神奈川県横浜市に「横浜R&Dセンター」を設置
「環境衛生」「脱炭素」「電動化」をキーワードに技術開発体制
を整備
- 部材調達ソースの多様化や、コスト削減を継続実行、景況変
動においても安定的に利益創出できる体質に転換
- サプライチェーンの変化に応じた海外生産体制の機動力強化
や技術開発のスピードアップに向けた施策を計画



環境変化を好機へと転換
私たちnmsホールディングスは独自のビジネスモデルで成長をめざします



nms
Holdings